

(様式3) 休眠預金等活用事業 支援対象活動計画書 (詳細)

2023年度 活動支援事業
ジャパン・プラットフォーム 災害に対応できる民間支援団体の増加と基盤強化事業

※記入に当たっての注意事項: 入力スペースは適宜ご調整いただいてかまいません。

団体情報

団体名	(法人格)団体名(略称) 特定非営利活動法人Vネット						
団体概要	設立趣旨書の目的・事業内容なども含めて記載してください 被災地及び被災者に対する支援活動を行う他、防災に関する啓発活動等を行い、「災害に強い社会」を築くことを目的としている団体です。 これまで、能登半島地震や東日本大震災、熊本地震など全国各地で入浴支援活動、重機等を使用した支援活動等、被災された方のニーズにお応えする活動を実施してきました。						
これまでの主な事業 ※適宜、行を増やしてください	主な事業名 入浴支援4箇所(能登半島地震)2024年1月～2025年1月末迄を予定	被災者属性 被災地(輪島市)の入浴困難者	被災者数 累計約8万人(2024年11月迄)				
	入浴支援4箇所(東日本大震災)2011年3月～2011年9月	被災地(気仙沼市,南三陸町)の入浴困難者	累計約2万人				
	入浴支援2箇所(平成28年台風10号)2016年9月～12月	被災地(岩泉町)の入浴困難者	累計約2千人				
	洗濯施設設置支援13箇所(能登半島地震)2024年1月～9月	被災地(輪島市)の入浴困難者洗濯困難者	累計約7万人				
	洗濯施設設置支援2箇所(東日本大震災)2011年3月～6月	被災地(気仙沼市,南三陸町)の洗濯困難者	累計約2万人				
	重機やチェンソー等を使用した解体,物品取り出し等の支援(能登半島地震)2024年1月～8月	被災地(輪島市)の家屋被災者と地域住民	累計約1千人				
	重機やチェンソー等を使用した解体,物品取り出し等の支援(東日本大震災)2011年3月～6月	被災地(気仙沼市,南三陸町)の家屋被災者と地域住民	累計約1万人				
	その他、熊本地震,西日本豪雨災害,九州北部豪雨災害など全国各地で被災者に対する支援活動を実施						
法人設立日	2016年10月8日	会員数	15人	役員数	4人	職員数	2人
団体所在地	岐阜県高山市桐生町2-315-7						
当該プログラムのご担当者 ※複数名の場合、行を増やしてください	ご氏名 川上 哲也	メールアドレス(PC) vnnetgifu@gmail.com	電話番号 090-8862-7999				
	(団体での役割、非営利分野での活動年数、災害支援のご経験(あれば)など) 団体での役割:理事長 非営利分野活動歴:24年 災害支援活動経験:能登半島地震、東日本大震災等の全国各地の災害、ジャワ島中部地震、中国四川大地震						

貴団体の活動分類はどれにあてはまりますか？(該当するものに○)		
	A. 非災害支援団体(災害支援経験なし)	
	B. 非災害支援団体(災害支援経験あり)	
○	C. 災害支援団体	
災害支援経験ありの場合 (上記B.C.に該当) ※複数あれば行を増やしてください	対応災害名	能登半島地震
	実施内容	大型入浴施設設置運営、洗濯施設設置運営、重機やチェンソー等を使用した支援活動、物資配布等
	実施期間(日数・月数等)	2024年1月～支援継続中
	対応災害名	東日本大震災
	実施内容	大型入浴施設設置運営、洗濯施設設置運営、重機やチェンソー等を使用した支援活動、物資配布等
	実施期間(日数・月数等)	2011年3月～2011年9月
特記事項など(何かあれば)	上記以外の地震、水害等、全国各地で発生する災害に対して支援活動を実施。 特に水害では、送風機の貸出しと共に、家屋の保全方法のアドバイス・実施など、被災地域に寄り添う活動を実施。2024年は累計で送風機を約800台貸出し。	

支援を受けたい内容(該当に○)		課題意識や要望について
○	1.規程類の整備	Vネットでは、必要な規程類の整備を進めてきたが、まだ整備しきれていない部分も多々あると思われるため、必要な規程について整備する支援をお願いしたい。
○	2.災害に関する事業計画立案	Vネットでは、これまで様々な助成金に申請をしてきたが、不採択になったものも少なくない。事業計画立案のポイントを学び、助成金を得られ易い状態としたい。
○	3.災害支援に関わる社会的インパクト評価	Vネットでは、これまでも様々な事業を実施してきたが、社会的インパクト評価については、充分な対応ができていないと考えている。この効果的な手法を学びたいと考える。

※支援内容・期間等については、詳細面談後に決定させていただきます。

団体財政状況について

前期決算額	22,459,737円	
事業費	21,816,697円	(%)
管理費	643,040円	(%)
委託費	0円	%
受入寄付額	12,049,829円	
負債	25,928,711円	

当該プログラムへの申請理由

災害対応準備理由	申込み経緯(考えている災害リスクや自団体が災害に取り組む必要性、所在地域での役割や、他地域での活動の有用性など)	
	災害発生時、地震でも水害でも、即応を必要とする案件に対して、タイムリーかつスフィアスタンダードにも合致するような支援活動を行いたいと考えている。しかし、資金調達の遅れや不足によって、活動の量や質を制限されることも少なくない。そのため、被災された方の涙を減らし、笑顔を増やすためにも、休眠預金を活用して、これまで以上の質・量で支援活動を行うため申請させていただきます。	
想定する災害時の活動	対象地	事業内容
	国内各地(陸送可能エリア)	大型入浴施設設置運営、洗濯施設設置運営、重機やチェンソー等を使用した支援活動など被災地域から求められる支援活動全般

災害対応準備完了後の活動の見通しについて

活動意向	活動予定内容	資金調達について
団体所在地内における災害	大型入浴施設設置運営、洗濯施設設置運営、重機やチェンソー等を使用した支援活動など被災地域から求められる支援活動全般	自己資金(寄附金)、助成金等
隣接県での災害	大型入浴施設設置運営、洗濯施設設置運営、重機やチェンソー等を使用した支援活動など被災地域から求められる支援活動全般	自己資金(寄附金)、助成金等
遠隔地での災害	大型入浴施設設置運営、洗濯施設設置運営、重機やチェンソー等を使用した支援活動など被災地域から求められる支援活動全般	自己資金(寄附金)、助成金等

支援終了後に期待する効果、将来像、ビジョンなど

災害発生時、即応を必要とする案件に対して、タイムリーな支援活動を行うことができる状態となることを期待しています。水害では、連携する団体とも力を合わせながら必要な作業を進め、カビ・匂い等から家屋を保全する対策が迅速に行われ、被災された方の肉体的・精神的負担、加えて金銭的負担が軽減されるようにしたいと考えている。 また地震では、被災家屋から必要な物品を取り出す作業や衛生支援など、その被災地で求められる支援活動全般が迅速に行える状態にしたいと考えている。 そのためにも、休眠預金活用に備えた規程類の見直し・事業計画・社会的インパクト評価方法を習得し、発災時に休眠預金を活用して即座に出動できる体制を整備したい。
